

令和7年度 東京都立青峰学園 学校経営計画

令和7年4月1日 校長決定

はじめに

【温故知新】

青峰学園では、開設以来、児童・生徒を大切にすることを一番大事にしてきた。大人と対等に児童・生徒を扱い、一人一人の在り方を認める。そして個別に丁寧に対応し、児童・生徒の尊厳を守りながら誇りをもたせていくこと。これを「青峰スタイル」という合言葉のもとに根底に置きながら、日々の教育活動が実践されてきた。そして、歴史ある青梅市の地域に見守られ密接に関わりながら、多くの企業とも積極的に連携し関係を広げてきた。共生社会の具現化のために、先を見据えた新たな取組を次々と展開してきたのが青峰学園である。

現在は、デジタル技術が多方面で飛躍的に向上し、社会生活が変化し、社会構造や価値観も益々多様化する中で、先の見通しが不透明であることが増えている。このような社会情勢を踏まえ、東京都では都知事が示した「東京都教育施策大綱」を始め、東京都教育委員会の「東京都教育ビジョン（第5次）」や「東京都特別支援教育推進計画第Ⅱ期第三次実施計画」があり、また、「学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラム」が示されている。これらに基づき、「共生社会」の具現化に取り組んでいく。

青峰学園においては開設から16年がたち、学校を形成する児童・生徒や教職員が変わり、コロナ禍がそれまでの実践や様々な取組、その根底となる意義の継承に影を落とした。そこで、開校20年を控え次のフェーズに入る前に、「青峰スタイル」として継承すべきものを確固たるものとしつつ、次代に繋がる新たな取組を試行錯誤し、共生社会を実現させるパイオニア校として、その礎を築いていく。

I 目指す学校

- (1) 互いの人権を尊重し、児童・生徒一人一人を大切に作る学校
- (2) 伝統を重んじ、新たな時代を切り開く取組みに果敢に挑戦する学校
- (3) 児童・生徒及び教職員が生き生きと過ごし、意欲的に活動する学校
- (4) 心身の健康及び安全が守られ、安心して生活できる学校



II 中期的目標と方策

- 1 人権を尊重し時代の変化に応じた学習指導の充実
 - (1) 人権を尊重し、一人一人の児童・生徒を大切にした指導・支援
 - (2) 社会の変化に応じた学習指導の改善と充実
 - (3) 教材・教具のデジタル化の推進
 - (4) 基礎知識を基に、自ら考え行動を促す学習の推進

- 2 心身の安全が守られ、安心して生き生きとした学校生活
 - (1) いじめ、体罰の根絶
 - (2) 安全で清潔感のある学校環境の整備、けが・事故等防止対策
 - (3) 熱中症や雷雨・台風等の自然災害や気候変化への予防・備え及び迅速な対応
 - (4) 適切な健康管理と保健指導
 - (5) 災害等における地域と連携した組織的な対応

- 3 地域及び企業や行政と連携した活動の充実と新たな取組の創生
 - (1) 地域との連携した活動の充実と地域資源を活用した取組の拡大
 - (2) 行政や企業等との良好な関係の構築とネットワークの拡大
 - (3) デジタル通信システムの推進と活用
 - (4) 専門性を生かしたセンター的機能の発揮

- 4 教職員が働きやすい職場づくり
 - (1) 法令に準拠したサービスの徹底
 - (2) 慣例にとらわれない効率的で効果的な業務遂行の推進
 - (3) 各自が職責を全うし、互いに情報を共有したチームによる業務遂行
 - (4) デジタルの活用による業務効率化の推進

Ⅲ 今年度の取組目標と具体的方策

	取組目標	具体的方策	目標
人権を尊重し時代の変化に応じた学習指導の充実			
①	人権尊重の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・呼称「～さん」の徹底 ・根拠に基づいた指導の実施 ・個別に応じた相談と対応 学校評価アンケート児童・生徒及び保護者満足度の向上	100% 100%
②	社会の変化に伴う授業の実践と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・「青峰学園指導書」に基づき、企業等外部からの情報を積極的に生かした授業実践と検証、次年度計画の改善 学校評価アンケート授業満足度の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・コース授業の地域への展開拡大 	80%以上 全コース実施 Good News 掲載2回以上
③	ICT 機器を効果的に活用した学習	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じたデジタル教材の活用と学びを補完する端末機能の使い方の実践と検証 ・端末を活用した効果的な協働学習の推進 <p style="text-align: right;">【都教委研究指定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業の実施 ・SNS や AI 等の安全な活用に関する指導 学校評価アンケート授業満足度の向上	全教科実施 6 事例以上 3 事例以上 80%以上
心身の安全が守られ、安心して生き生きとした学校生活			
①	いじめ・体罰 ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の相談に丁寧に対応し、早期発見及び対応に向け、学科・学部の教員間の迅速な情報共有 ・相談機能の充実：スクールカウンセラーによる相談を肢体不自由教育部門へ拡大 	服務事故 0 件 いじめ 0 件 年間総数 300 件
②	誰もが安全で気持ち良く過ごせる学校環境の整備・維持	<ul style="list-style-type: none"> ・5S の徹底 ・掲示物ルールに基づいた掲示物の整理 ・個別の安全に対応した環境整備 	校内重大事故 0 件
③	自然災害、感染症等の被害拡大防止に備えた対策	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に即した避難訓練内容の改善と計画的な訓練の実施 ・感染症の拡大防止に備えた基本的対応の継続 ・地域と連携した防災訓練の実施と情報共有 	年間 11 回 校内感染拡大 0 件 随時
④	適切な健康管理と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーや医療的ケアに関する適切な対応と事故防止の徹底 ・緊急時の対応の周知及び外部関係機関との連携 	随時 学期ごと
地域及び企業や行政と連携した活動の充実と新たな取組の創生			
①	地域での活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅市及び奥多摩町での学習活動、部活動等、地域とのコラボレーション企画の実施 	20 回以上
②	行政・企業との連携拡大と新たな取組	<ul style="list-style-type: none"> ・新規企業開拓 ・多摩地域を中心とした教育委員会や関係課訪問 	新規訪問 月 10 件 新規開拓 年間 10 社 5 市以上
③	デジタル通信システムを活用した大学・企業・他県学校等との情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインの活用による関係機関の拡大及び情報共有 	年間 3 回以上 実施

④	特別支援教育コーディネーター・進路専任を中心としたセンター的機能の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣都立高等学校への訪問 ・地域及び幼保・小中学校等への訪問、助言等 ・副籍交流 	年間 10 回以上 年間 20 回以上 50%
教職員が働きやすい職場づくり			
①	サービス事故 ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なサービス研修の実施 ・経営企画室長、主幹教諭、学部・学年主任による注意喚起 	年間 6 回 毎日
②	教職員の職場満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外在校時間 45 時間以内 ・年休取得 年間 15 日以上 TRY20! ・ストレスチェックアンケート 職場満足度の 20% 向上、健康リスク度減少 100 以下 	100% 100% 満足度 70% リスク 98
③	効率的な業務の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・会議録のデジタル化：記録のデータ保存、電子回付の導入 紙の削減、文書保管場所の縮小 ・デジタル機器の積極的活用と充実 ・教職員による各部署における業務改善案の積極的な提案 ・担当者不在でも業務を止めないための職務内容の明確化と情報共有 	年度内開始 実現 10 件以上 各部署全実施
④	次代を担う人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員の育成、基本的業務の定着 ・中堅教員の指導力・マネジメント力の育成 経営会議ほか各種会議等を活用した意識の向上 マネジメント講座、学校リーダー講座等の活用 	離職者 0 名 受講者 各 1 名以上